ク　コージェネレーション設備

ガスタービン式コージェネレーション設備又は燃料電池コージェネレーションシステム等熱需要が十分見込まれる場合の適正規模のコージェネレーション設備の導入、エネルギー消費効率の高いコージェネレーション設備の導入、コージェネレーションの総合的な効率改善のためのシステムの導入その他の必要な措置

ケ　電動力応用設備・電気加熱設備

負荷機械の運転特性及び稼働状況に応じた所要出力に見合った電動機の導入、燃料の燃焼・蒸気・電気等による加熱の特徴を比較勘案した加熱設備の導入、負荷変動に対する稼働状態の調整を容易にするための設備の導入、インバーター制御装置・機械式無段変速装置・静止型レオナード装置・サイリスタモーター・極数変換モーター等コンプレッサー・ファン・ブロワ・ポンプ等の電動力応用設備における回転数制御装置の導入、コンピュータの使用等による電気使用設備における電気の使用状態の的確な計測管理、プレミアム効率モーター又は永久磁石同期モーター等を用いたエネルギー消費効率の高い電動機・電動力応用設備の導入、高性能アーク炉・高性能抵抗炉・高性能高周波炉・高性能溝型炉・高性能電気分解炉・高性能メッキ炉等エネルギー消費効率の高い電気加熱設備の導入、進相コンデンサー又は自動力率改善装置等設備の力率改善のための設備の導入、エアー需要に見合った圧力のエアーコンプレッサー・ブロワ・ファンの導入、エアー配管の合理化・最適化、熱利用設備の回転部分・継手部分等にシールを行う等によるエアーの漏えいの防止その他の必要な措置

コ　照明設備・昇降機設備・事務用機器等

高周波点灯型蛍光灯・メタルハライドランプ・ＬＥＤ（発光ダイオード）照明等エネルギー消費効率の高い照明器具への更新、清掃・光源の交換等の保守が容易な照明器具への更新、点灯回路等の総合的な照明効率を考慮した照明器具への更新、照明対象範囲の細分化、人感センサーの導入、計時装置（タイマー）の導入、初期照度補正又は調光制御のできる照明設備への更新、エネルギー消費効率の高い昇降機設備・事務用機器等の導入、地球温暖化係数がより小さい冷媒を使用している省エネ型の自動販売機への更新その他の必要な措置

サ　建物

熱線吸収ガラス・熱線反射ガラス等の高断熱ガラス・二重サッシの導入、エアフローウインドー等の導入、地球温暖化係数がより小さい材料を使用した断熱材の使用等による建物の断熱その他の必要な措置

シ　工場エネルギー管理

温室効果ガスの排出等の状況について定期的かつ定量的な評価を行えるエネルギー管理の実施のための設備の導入その他の必要な措置

ス　流体・余剰蒸気の活用等

廃圧回収タービン・高効率ガス分離装置等の流体・余剰蒸気圧力・副生ガスの活用設備の導入その他の必要な措置

セ　未利用エネルギーの活用

廃棄物・廃液のガス化・液（油）化・固形燃料化装置等廃棄物エネルギー活用設備の導入、ヒートポンプ等を活用した熱効率の高い温度差エネルギー活用設備の導入、水落差・水残圧エネルギー活用設備の導入その他の必要な措置

②　温室効果ガスの排出の抑制等に資する設備の使用方法

事業者は、産業部門活動における事業の用に供する設備について、できる限り温室効果ガスの排出の量を少なくする方法で使用するよう努めること。具体的には、次に示す設備ごとに、次に示す措置を早期に講ずることが望ましい。また、地域における複数の事業者によるエネルギーの面的な利用、ＥＳＣＯ事業者等を活用したエネルギー消費効率の改善についても検討することが望ましい。

ア　燃焼設備

燃焼設備及び使用する燃料の種類に応じた空気比の適正化、複数の燃焼設備を使用する場合の燃焼設備全体としての熱効率の向上、燃料の粒度・水分・粘度等燃料の性状に応じた適切な運転、熱源設備の効率の改善に必要な事項の計測及び記録、熱源設備の定期的な保守及び点検、排出係数が小さい燃料等への転換その他の必要な措置

イ　熱利用設備

熱媒体の温度・圧力・量の適正化による熱量の過剰供給の防止、炉壁外面温度の適正化、排ガス温度及び廃熱回収率の向上、工業炉の設備の構造・被加熱物の特性・前後の工程等に応じた熱効率の向上によるヒートパターンの改善、被加熱物又は被冷却物の量及び炉内配置の適正化による過大負荷及び過小負荷の防止、加熱の反復を必要とする工程における連続化・統合化・短縮・一部の省略・工程間の待ち時間の短縮、断続運転が可能である場合の運転の集約化、ボイラー給水の水質の適切な管理、不要時の蒸気供給バルブの閉止、蒸気の乾き度の維持、冷却器及び凝縮器への入口温度の適正化、複数の加熱設備を使用する場合の設備全体としての熱効率の向上、加熱等を行う設備の制御方法の改善による熱の有効利用、熱の損失状況を把握するための事項及び熱の損失改善に必要な事項の計測及び記録、設備の定期的な保守及び点検その他の必要な措置

ウ　廃熱回収設備

排ガスを排出する設備等に応じた排ガス温度の低減・廃熱回収率の向上、廃熱の回収を行う蒸気ドレンの温度・量・性状の範囲の適正化、加熱された固体又は流体が有する顕熱・潜熱・圧力・可燃性成分等の回収利用の範囲の適正化、原材料の予熱等その温度・設備の使用条件等に応じた廃熱の適正な利用、廃熱の状況把握及び利用の促進のために必要な事項の計測及び記録、廃熱利用の効率を維持するための事項に関する定期的な保守及び点検その他の必要な措置

エ　空調設備・換気設備

製品製造・貯蔵等のための区画及び作業のための区画における空調設定温度・湿度の適正化、運転時のドアの開け放しの防止、空調設備・熱源機の起動時刻の適正化、使用されていない区画の空調停止、熱源設備における冷温水ポンプの冷温水流量の適正化、蓄熱システムの運転スケジュールの適正化、熱源設備における熱源台数制御装置の運転発停順位の適正化、熱源設備における冷温水出口温度・冷却水設定温度の適正化、冷暖房の混合使用によるエネルギー損失の防止、空調・換気効率の改善に必要な事項の計測及び記録、温湿度センサー・コイル・フィルター等の清掃、自動制御装置の管理等の保守及び点検、複数の空調設備で構成されている場合等の総合的なエネルギー消費効率の向上、機器等からの冷媒等の漏えい防止のための点検・整備、排出係数が小さい燃料等への転換その他の必要な措置

オ　給排水設備・給湯設備・冷凍冷蔵設備

給排水ポンプの流量・圧力の適正化、給湯温度・循環水量の適正化、冬季以外の給湯供給期間の短縮、運転時のドアの開け放しの防止、複数の熱源機・ポンプで構成されている場合等の総合的なエネルギー消費効率の向上、熱源設備における熱源台数制御装置の運転発停順位の適正化、熱源設備における冷却水設定温度の適正化、温湿度センサー・コイル・フィルター等の清掃、設備の定期的な保守及び点検、排出係数が小さい燃料等への転換、配管等からの冷媒等の漏えい防止のための点検・整備その他の必要な措置

カ　発電専用設備

複数の発電設備の並列運転に際しての総合的なエネルギー消費効率の向上、総合的な効率の改善に必要な事項の計測及び記録、設備の定期的な保守及び点検、排出係数が小さい燃料等への転換その他の必要な措置